

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 3 1 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人東翔会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 福岡県大牟田市大字田隈 830 番地の 1

(3) 設立認可年月日 平成 7 年 6 月 2 2 日

(4) 設立登記年月日 平成 7 年 7 月 7 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	堀 奈美	ひがしはら医院管理者
理 事	東原 大二郎	
同	田中 直明	
同	田中 二郎	
監 事	小島 隆幸	

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 7 条第 1 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	該当なし	該当なし	該当なし
診療所	該当なし	該当なし	該当なし
介護老人 保健施設	介護老人保健施設 ぷらいえ	福岡県大牟田市大字田隈830 番地の1	入所定員 42人

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
生活支援センター ひがしはら	福岡県大牟田市大字田隈830番地 の1	
東翔会ホームヘルパー養成研修	福岡県大牟田市大字田隈830番地 の1	
介護予防拠点・地域交流施設 コムーネ 【大牟田市から委託を受けて管理】	福岡県大牟田市大字田隈820番地 の1	
小規模多機能型居宅介護ぷらいえ	福岡県大牟田市大字田隈827番地 の1	
認知症対応型通所介護 ぷらいえ	福岡県大牟田市大字田隈827番地 の1	

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
該当なし	該当なし	

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和6年5月17日 令和5年度事業報告書・決算報告書の承認

令和6年9月6日 医院の休止について 承認

令和6年12月3日 代物弁済契約及び土地建物の譲渡について 承認

令和7年3月11日 令和7年度事業計画及び医院の廃止 承認

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

該当なし

- (6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

該当なし

- (7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

該当なし

- (8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

- (9) その他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

該当なし

様式 2

法人名 医療法人 東翔会

※医療法人整理番号

1

2

6

4

所在地 福岡県大牟田市大字田隈826番地の5

財 産 目 録
(令和 7年 3月 31日現在)

1. 資 産 額	264,874 千円
2. 負 債 額	107,821 千円
3. 純 資 産 額	157,053 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	179,423
B 固 定 資 産	85,451
C 資 産 合 計 (A + B)	264,874
D 負 債 合 計	107,821
E 純 資 産 (C - D)	157,053

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地

(☐ 法人所有 ☐ 賃借 ☒ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

建 物

(☐ 法人所有 ☐ 賃借 ☒ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

様式 3 - 1

法人名 医療法人 東翔会

※医療法人整理番号

1	2	6	4
---	---	---	---

所在地 福岡県大牟田市大字田隈826番地の5

貸借対照表	
現金	100
短期貸付	200
短期有価証券	300
固定資産	400
負債	500
資本	400
合計	1,000

(令和 7年 3月31日現在)

(單位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	179,423	I 流 動 負 債	99,129
現 金 及 び 預 金	119,339	買 掛 金	1,688
事 業 未 収 金	48,563	未 払 金	80,802
有 価 証 券	4,950	未 払 費 用	12,295
た な 卸 資 産	820	未 払 法 人 税 等	92
立 替 金	327	預 り 金	4,252
その他の流動資産	5,754		
貸 倒 引 当 金	△ 330		
II 固 定 資 産	85,451		
1 有 形 固 定 資 産	83,309		
建 物	39,835		
建 物 附 属 設 備	7,057		
構 築 物	1,194		
車 両 運 搬 具	2,479	II 固 定 負 債	8,692
工 具 器 具 備 品	7,319	長 期 借 入 金	8,692
内 部 造 作	0		
一 括 償 却 資 産	0		
土 地	25,425		
2 無 形 固 定 資 産	2,047		
電 話 加 入 権	678		
ソ フ ト ウ ェ ア	1,369		
下水道施設利用権	0		
3 その他の資産	95		
出 資 金	30	I 出 資 金	60,000
敷 金	0	II 剰 余 金	97,053
保険積立金	0	繰越利益剰余金	97,053
その他の資産	65	積 立 金	
役職員等長期貸付金		繰越利益積立金	
長 期 前 払 費 用		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
繰 延 税 金 資 産		その他有価証券評価差額金	
		繰延ヘッジ損益	
		純 資 産 合 計	157,053
資 産 合 計	264,874	負債・純資産合計	264,874

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式 4 - 1

法人名 医療法人 東翔会

※医療法人整理番号 1 2 6 4

所在地 福岡県大牟田市大字田隈826番地の5

損 益 計 算 書
(自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益	249,302	
2 事業費用		
(1)事業費	348,225	
(2)本部費		
本来業務事業利益		△ 98,923
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益	104,584	
2 事業費用	109,994	
附帯業務事業利益		△ 5,410
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
収益業務事業利益		
事業利益		△ 104,333
II 事業外収益		
受取利息	59	
その他の事業外収益	2,522	2,581
III 事業外費用		
支払利息	0	
その他の事業外費用	0	0
経常利益		△ 101,752
IV 特別利益		
貸倒引当金戻入他	346	346
V 特別損失		
固定資産売却損	54,396	54,396
税引前当期純利益		△ 155,802
法人税・住民税及び事業税		209
法人税等調整額		
当期純利益		△ 156,011

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

法人名 医療法人 東翔会

所在地 福岡県大牟田市大字田隈 8 3 0 番地の 1

※医療法人整理番号

1

2

6

4

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注) 1. 不動産の賃借料は、近隣相場を参考に決定している。

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注) 1. 不動産の賃借料は、近隣相場を参考に決定している。

監事監査報告書

医療法人東翔会

理事長 堀 奈美 殿

私は医療法人東翔会の令和6年会計年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日）までの業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の報告の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和7年5月8日

医療法人 東翔会

監事

原田 美